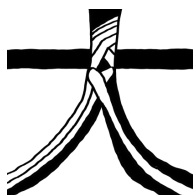
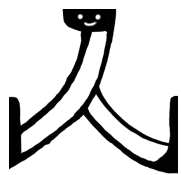
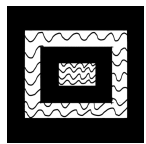


第
67



共生社会への道しるべ ～瀬戸内の島の学校と地域の新たな歩み～

地域
社会

共生社会
島の未来
人口減少
インクルーシブ教育とは？

日時 2025年11月24日（月）午後1時30分～午後5時

場所 まなびCAN（高松市生涯学習センター）

〒760-0040 高松市片原町11番地1

基調講演 そもそもインクルーシブ教育とは何でしょうか？基本的な理論と現在我が国が抱える問題点についてご講演いただきます。

基調報告 「香川県内における取組み例」

パネルディスカッション 「共生社会への道しるべ」

お申込み方法 下記申込フォームからお申込みください。）

<https://forms.gle/BeQ6Yfz5uTPr7UyY6>



UD通訳あり
参加無料・定員150名

ご提供いただいた個人情報は、香川県弁護士会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本シンポジウムの運営のために利用します。
また、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないよう統計情報として公表することがあります。

（主催）香川県弁護士会

（共催）日本弁護士連合会・四国弁護士会連合会

（後援）香川県教育委員会

我々が目指すのは
一人ひとりが尊重される「共生社会」。
障がいの有無に関わりなく学び暮らすことを
「当たり前」とする。瀬戸内の小さな島の学校が
地域とともに新たな一歩を踏み出しました。
本プレシンポジウムでは、そのあり方を
インクルーシブな明日への「道標」として、
皆様と議論し、未来へつなぐ時間にしたいと思います。

インクルーシブ教育とは
多様な子どもが
共に学ぶ
教育のことです。

パネリストメンバー紹介

※基調講演については、当日に講師のご紹介をさせていただきます。

パネリスト

香川県弁護士会
弁護士
上原 みづほ

パネリスト

香川県立小豆島みんなの支援学校
校長 黒田 友香 先生

〈略歴〉

平成4年 香川県立高校・特別支援学校 養護教諭
令和3年 香川県立特別支援学校 教頭
令和7年 香川県立小豆島みんなの支援学校 校長

パネリスト

株式会社瀬戸内海放送
村主 直人 記者

2019年入社。報道記者。日々のニュースのほか、
障がいがある方・外国にルーツを持つ子どもたち・
元受刑者やその支援者等の取材やドキュメンタリー
番組を制作。小豆島みんなの支援学校には、2023年の
開校直後から取材に入り特集番組を制作。

基調報告のご紹介

当シンポジウム実行委員会は、「弁護士」として小豆島にある
香川県立小豆島みんなの支援学校を訪問いたしました。
実行委員会メンバーは皆、弁護士であり、教育研究者でもなければ、
教育の実務家でもありません。
インクルーシブ教育に日常的に携わっていない弁護士としてみて、
香川県立小豆島みんなの支援学校、そして小豆島という地域が
どのように映ったのかをご報告いたします。

会場へのアクセス

